

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (四国)	良くなる やや良くなる	-	-
		商店街（代表者）	・成長戦略のなかでも世界に先駆けできる産業は再生医療分野である。今回iPS細胞による世界初の臨床試験が延期されたことは、経済全体に大きな水を差した。
		百貨店（総務担当）	・高額品以外にも夏物衣料の動きが好調である。
		コンビニ（店長）	・深夜時間帯の回復がみられる。
		コンビニ（商品担当）	・プライベートブランド戦略等で価格は下落傾向であるが、客数と売上点数は上向きであり、販売量は伸びている。買物をした意識が高くなっており、今後も続くと思われている。
		家電量販店（店員）	・夏のボーナス商戦を迎え、販売数が順調に伸びると予想される。
		乗用車販売店（営業担当）	・各社とも6月から販売促進を強化する見込み。その為に軽自動車は活性化すると予想する。
		住関連専門店（経営者）	・円安、株高の影響により、消費ムードが少し良くなっているのではないかと考える。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・酒類業界は、夏場が2番目によく売れる時期なので、景気はやや良くなると予想する。
		観光型旅館（経営者）	・現政権の政策によって、将来に明るい見通しが立ち、旅行消費も増えるのではないかと予想する。特にお年寄りや家族旅行などが増えつつあるので、大幅な円高や株安という問題が起きなければ、今後の見通しは少し明るくなるのではないかと考える。
		タクシー運転手	・6月はボーナス月であり、例年、7、8月は売上が少し上昇するため。
		通信会社（企画）	・現在の状況がしばらく継続すると思われるので、やや良くなるのではないかと考える。
		通信会社（支店長）	・ボーナス商戦期を迎えることや新商品発表による販売増が見込めるため、やや良くなると予想する。
		観光名所（職員）	・円安の影響で旅行先を国内にシフトすることが予想されるため、前年より来客数が多くなると思われる。
設計事務所（所長）	・街の中心部の空き地に、建物が建つようになってきた。		
住宅販売会社（従業員）	・年配客は住宅ローン金利の上昇を気にしている様子が見られるものの、消費税増税前で若い客に動きがみられ、受注につながると考える。		
変わらない	変わらない	商店街（事務局長）	・株相場の乱高下、生活必需品や電気代の値上げ等不安な要素も多く、所得が増えないと消費は上向かないと思われる。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・母の日やイベント時以外は、商品を見るだけで買わない人が多くなった。平日との差が大きく、良くなるとは思えない。
		一般小売店〔乾物〕（店員）	・特になし。
		百貨店（営業担当）	・株価が乱高下を始めたので、大きな物が売れるかどうか分からなくなってきたとあり、変わらないと予想する。
		スーパー（店長）	・変わっていく要素が見当たらないというのが実感である。
		スーパー（企画担当）	・円安、株高基調であると思うが、エネルギーコストの上昇、食品の単価増などネガティブな要素も多いため。
		スーパー（企画担当）	・商品の値上げ報道により前倒し需要はあると思うが、値上げ後の買い控えが予想される。
		コンビニ（総務）	・地方景気の先行きは不透明であり、期待感より不安の方が大きい。
		衣料品専門店（経営者）	・優良企業がボーナスを上げてくれたら、7、8月は多少上向くと期待しているが、梅雨のシーズンや7月からのバーゲン待ちということもあって、厳しいと予想している。
		家電量販店（店長）	・税金や福祉の問題等、先行き不安がぬぐえていないため、景気が良くなるとはまだ考えられない。
		乗用車販売店（従業員）	・現政権の打ち出した成長戦略も、地方ではまだ実感が無い。
		乗用車販売店（従業員）	・景気が良くなった感じだけで、実際の数字は上がっていないようである。末端が実感できる景気対策を期待する。
		乗用車販売店（役員）	・5月の新車登録はなんとか前年並みを確保できるとみている。6、7月もこの調子でいけば前年を維持できると思っている。景気については、来年1～3月に上向くと期待したい。
		旅行代理店（支店長）	・株価上昇に伴う旅行需要の増加が大いに期待されるが、最近の株価の暴落もあり、安定かつ実質的な景気回復につながるか見通せない。
通信会社（営業担当）	・新商品の発売開始や夏商戦時期に入り、販売数量の増加が見込まれるものの、季節変動の範囲内であると想定する。		

		ゴルフ場（従業員）	・来場者、予約状況も良くなりつつあるが、まだ本調子ではないと感じている。
		競艇場（職員）	・7～8月に大きなレースを予定しており、売上増加につながるよう対策を講じなければならないが、現状ではあまり期待が持てない。
		美容室（経営者）	・各種値上げなどにより消費マインドの低迷が続いているように感じる。
		美容室（経営者）	・新規集客の見込みがない。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・国の政策によって景気上昇が期待されたが、ここに来て足踏み状態となっており、消費者マインドに悪い影響を与えているように感じる。
		スーパー（統括担当）	・株価の値動きが示すように、実体経済の明るさがなくなって、不安が先行してきているように思う。
		スーパー（財務担当）	・一時的に消費が減退することはないと思う。景気上昇局面では富裕層がまずメリットを享受し、中間、下位層へとシフトしてゆく。この間2年は必要である。息の長い景気上昇を期待している。
		乗用車販売店（従業員）	・販売台数は前年並みだが、来客数が減り、成約数も減ってきている。
		スナック（経営者）	・景気とは関係なく、8月は帰省やお盆があるため、出費を抑える傾向にある。
		都市型ホテル（経営者）	・首都圏や近畿圏は景況感が上向いていると思うが、地方は人や金の流れがあまり良くないと予想する。
		タクシー運転手	・夏はお遍路も減少し、乗客はもっと少ないだろう。街の様子を見て、景気が良くなったとはとても言えず、悪くなる一方だと思う。
	悪くなる	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・地方の人口減少に歯止めがかからず、需要と供給がアンバランスなまま景気は良くならない。色々な物が値上がりして、ますます消費者の財布のひもが固くなるだろう。
		衣料品専門店（経営者）	・電気代をはじめ物価が上昇しているが、所得が増えていないため、財布のひもが固くなってきている。
企業 動向 関連 (四国)	良くなる	食料品製造業（商品統括）	・政府の前向きな対策が随時発信されており、調整局面にも大きな動揺はみられないと思う。
	やや良くなる	一般機械器具製造業（経理担当）	・中東を中心に大口商談が見込まれる。
		金融業（融資担当）	・求人募集の広告も増えており、徐々に景気が改善すると予想される。一方円安により原料を輸入に頼る企業には不安も広がっており、マイナス材料も含まれている。
		公認会計士	・特に株式を所有している法人は米国の大手金融機関の破たん以前の状況に戻り、非常に財務内容が良くなったという話を聞く。また、消費税増税前の駆け込み需要が見込まれると話題になっている。若干景気は上向くのではないかと予想する。
	変わらない	農林水産業（総務担当）	・消費が上向く要素は見当たらない。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・価格交渉を続けているが、なかなか応諾してくれない。価格修正ができなければ赤字に転落してしまうので、粘り強く交渉を続けていく。
		電気機械器具製造業（経営者）	・太陽光発電も、北海道、鹿児島等々で電力会社が許可してくれないということで、大型太陽光の設備は減衰している。一方、電子機器、化学等々の設備は増加傾向にある。これらを勘案して、変わらないと予想する。
		建設業（経営者）	・建設業はこの時期、落ち込むのだが、例年と比べると手持ち仕事量が底をつくこともないようなので、このまま悪くなることなく、変わらないと思われる。
		建設業（経営者）	・公共工事の出方次第で、良い方向に変わるかもしれないが、このままいけば、当面は変わらないと予想する。
		輸送業（経営者）	・消費税増税が気になるが、心は決まっているだろうから変わらないと予想する。
		輸送業（営業）	・燃料高騰を受けてのハイブリッドカー人気等、一部の業界には景気の上向きを感じられる部分はあるが、運送業において物量の推移を見ると消費低迷を強く感じる。梅雨明けまでは物量の増加は期待できない。
		通信業（部長）	・夏モデルが発売になり販売の活性化は図られると思うが、景気浮揚にはまだ少し時間を要する。
		不動産業（経営者）	・消費者のマインドが前より明るくなり、前向きな気持ちは出てきているが、それに見合う価格や物件とのギャップがみられる。
	やや悪くなる	鉄鋼業（総務部長）	・経常先の受注回復はまだ見えず、スポット先も先行きが全く読めない状況である。また、原材料の多くを輸入しているため、仕入価格が上昇傾向にあり、収益的にも悪化傾向にある。

		電気機械器具製造業 (経理担当)	・国内は、現在とほぼ同様で動くと思込んでいる。米国の特定市場向けの価格下落が想定されており、市場の動向を見極めるために模様眺めの状況にある。従って、販売を調整しており、落ち込んでいる。
	悪くなる	輸送業(支店長)	・荷主の生産調整による製品保管物の減少、並びに輸送数量減少により悪くなると予想する。
雇用 関連 (四国)	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社(営業担当)	・アベノミクス効果が奏功し、各経済指標も改善。消費者心理にも作用が認められる。ボーナス時期も相まって、景気は緩やかながら上昇を続けると考える。
		求人情報誌製作会社 (従業員)	・夏季学生アルバイト募集の増加が見込まれる。
	変わらない	職業安定所(職員)	・月間有効求人倍率が先月より0.10ポイント低下している。ただし、前年同月比では0.26ポイント上昇している。
		職業安定所(職員)	・景気回復が期待されている状況ではあるが、地方における实体经济の波及の遅れ、中小企業金融円滑化法の終了等は大きな懸念材料になっているのではないかと。企業の採用募集に関しては慎重に構えているような状況がみられる。
		民間職業紹介機関(所長)	・企業においては現状維持が精一杯で、マスコミ報道されているような期待感を抱いている様子は無い。ただし、建築関係では、昨年より着工件数が増えている企業が多い。
	やや悪くなる	人材派遣会社(営業担当)	・製造業の生産が減っており求人が期待できない。
悪くなる	求人情報誌(営業)	・円安により、原材料輸入費が上昇し、物価が高騰することにより、個人支出は一時的に増えるが、所得はしばらく増えないことから、長期的には個人支出が減り、景気は悪くなると予想される。	